

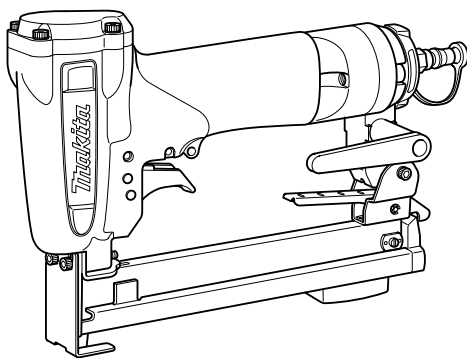
# Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ  
人の暮らしとすまいのために……

## 取扱説明書

## 軽天タツカ

モデル AT422C



このたびは**軽天タツカ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 主要機能

| 主要機能 \ モデル | AT422C                                      |
|------------|---------------------------------------------|
| 使用空気圧力     | 0.39 ～ 0.69MPa(4.0 ～ 7kgf/cm <sup>2</sup> ) |
| 使用ステープル    | 410・413・416・419・422                         |
| ステープル装てん数  | 100 発                                       |
| 使用ホース内径    | 6.5mm 以上                                    |
| 機体寸法       | 長さ 227mm × 幅 49mm × 高さ 157mm                |
| 質量         | 1.0kg                                       |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

JPB148-1

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
  - ・ 機械の取扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、機械を使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
    - 疲れているとき、身体が不調なとき。
    - 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してステーブル打ち作業をしてください。
  - ・ 装着しないと打ち損じのステーブルで目などにけがをしたり、排気音で耳を痛める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
  - ・ ステーブルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ステーブル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
6. 機械に刻印や溶接等の改造をしないでください。
  - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
  - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は銘板に記載の範囲内で使用してください。
  - ・ 高過ぎる圧力は、損傷による事故の原因になります。
9. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
  - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
10. 必ず射出口を確実に材料に当ててトリガを引いてください。
  - ・ トリガを引くだけで作動するので、誤って発射した場合に事故の原因になります。
11. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。射出口を人に向けたり、手足を射出口付近に近づけたりしないでください。
  - ・ トリガを引くだけで作動するので、誤って発射した場合に事故の原因になります。

## 警告

### 12. 次の場合は、本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って機械が作動すると事故の原因になります。
  - 修理する場合。
  - ステーブルを装填する場合、また取り出す場合。
  - 作業中、機械を持って移動する場合。
  - 点検整備をする場合。
  - その他事故が予想される場合。

### 13. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。

- ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。

### 14. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。

- ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。

### 15. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。

- ・ 打ち損じのステーブルなどがあたりけがをする原因となります。

### 16. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。

- ・ ステーブルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。

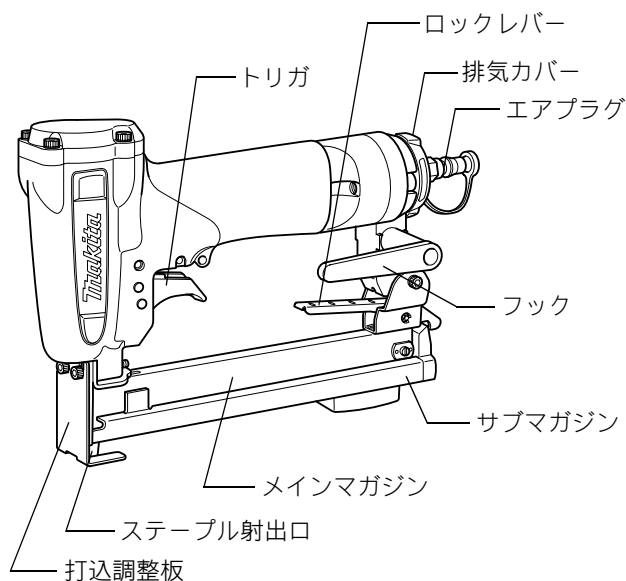
### 17. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。

- ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。

## ⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
  - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
  - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
  - ・ 不完全な機械を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業中は、機械に顔などを近づけないでください。
  - ・ ステーブルの上や木の節などに当たった場合、機械が大きく反動し、けがをする原因になります。
5. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
  - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
6. 作業中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
  - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
7. 機械およびコンプレッサは、空気充填のまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
  - ・ タンク内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
8. 機械の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
  - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
9. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をお勧めします。点検修理は、お買い求めの販売店またはお近くの弊社直営事業所にお申しつけください。
  - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。
10. 射出口を確実に材料に当ててください。
  - ・ 確実に当てていないとステープルがはね返り、事故の原因となります。

## 各部の名称および標準付属品

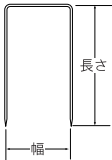


### 標準付属品

- ・ 油サシ (タービン油 # 90、25mL 入)
- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ フック
- ・ 打込調整板
- ・ 六角棒レンチ 4
- ・ 六角穴付ボルト

## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の直営事業所へお問い合わせください。
- ・ ステープル（材質：鉄・ステンレス）

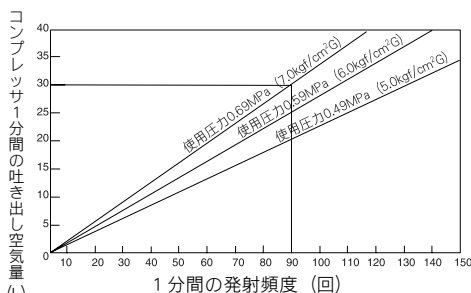
| 形状                                                                                | 幅 X 長さ   | 部品番号    |         |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------|---------|---------|
|                                                                                   |          | 鉄       | ステンレス   |
|  | 4 × 10   | A-22171 | -       |
|                                                                                   | 4 × 13   | A-22187 | A-06404 |
|                                                                                   | 4 × 16   | A-22193 | A-06410 |
|                                                                                   | 4 × 19   | A-22202 | A-06426 |
|                                                                                   | ★ 4 × 22 | A-22218 | A-06432 |

★印のステープルは石こうボード等の軟質材料用。

## 使い方

### コンプレッサの選定について

- ・ 機械を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は右図を参考にしてください。
- ・ 右図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が0.69MPa(7.0kgf/cm<sup>2</sup>)で発射頻度が1分間に約90回ですと、吐出し空気量30L/分以上のコンプレッサが必要です。



### エアホースの選定について

- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。  
※ 内径 6.5mm 以上、長さ 30m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

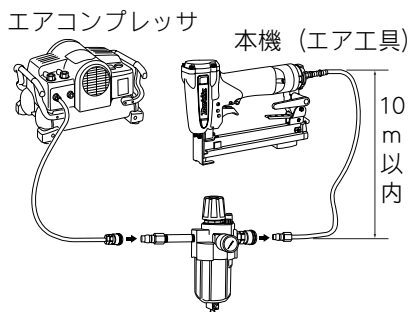
## 注

- ・ ステーブルの発射頻度にくらべコンプレッサの吐出量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長さが長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

# 使い方

## エアセット（別販売品）について

- ・ エアセットをご使用頂きますと、本機の作動性と防錆性を長期間最適の状態に保つことができます。
- ・ ご使用の際は、エアセットから本機までのエアホースの長さをおおよそ10m以内としてください。オイルの油の滴下の量は50回打ち込むごとに1滴約(0.02mL)の割合で調整してください。
- ・ エアセットのオイルを使用しない場合は使用前後にエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してください。作業前の注油は潤滑油となります。作業後は注油してから数回発射してください。油が本機全体に行きわたり錆止めとなります。長時間作業される場合は注油回数をふやしてください。



## コンプレッサ・エアセット・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンクおよびエアセットのエアフィルタ内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されると、本機的能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアセットのオイル内にタービン油が入っているか定期的に点検してください。油がない状態で使用しますと、Oリングの早期摩耗の原因となります。
- ・ エアホースは熱(60℃以上)、薬品(シンナー、強酸、強アルカリなど)および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

# 使い方

## ステープルの装てんについて

### ⚠ 警告

ステープルを装てんする場合は必ず本機からエアホースをはずしてください。

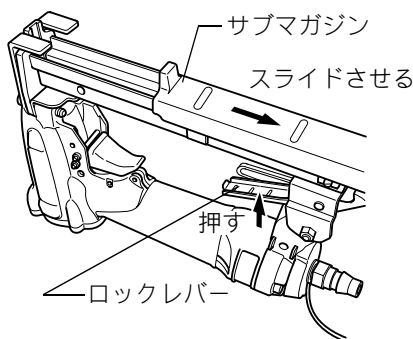
- ・ 誤って機械が作動すると事故の原因になります。

### ⚠ 注意

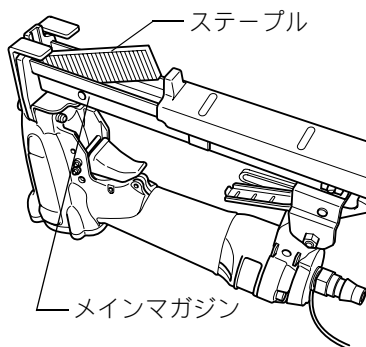
ステープルを装てんした状態で不用意にマガジンを開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にステープルが落下すると事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。



- ・ 次にステープルの足を上にして、メインマガジンに入れて下さい。
- ・ サブマガジンを元に戻し、ロックレバーを掛けてください。



### 注

ステープルの連結が変形したものは使用しないでください。

指定のステープルを使用してください。

- ・ 指定以外のステープルを使用しますと、釘づまり、故障の原因になります。

# 使い方

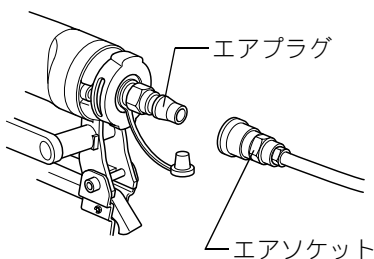
## エアホースの接続

### ⚠ 警告

エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ 本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。



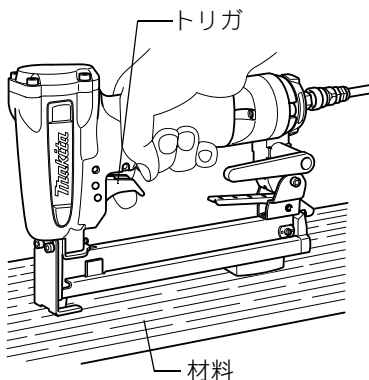
## 打ち込み方法について

### ⚠ 警告

必ず射出口を材料に当ててトリガを引いてください。

- ・ トリガを引くだけで作動するので、誤って発射した場合に事故の原因になります。

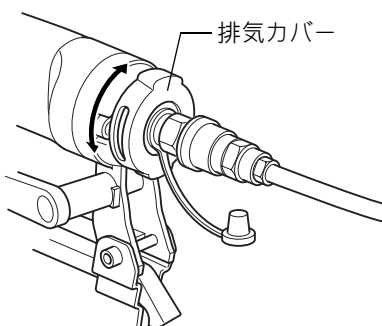
- ・ 射出口を材料に当て、トリガを引けばステーブルが打ち込まれます。



## 使い方

### 排気方向について

- ・ 排気方向は排気カバーを手で回すことにより、360 度回転できます。



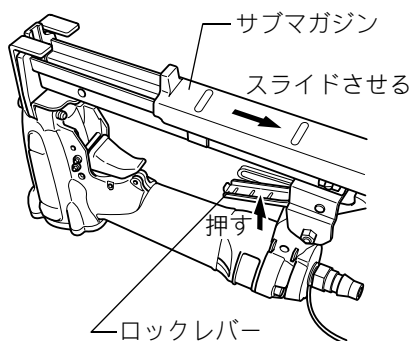
### ステープルづまりの直し方

#### ⚠ 警告

作業に入る前に、本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って機械が作動すると事故の原因になります。

- ・ ロックレバーを押してサブマガジンを後方へスライドさせて開いてください。射出口が露出しますのでつまんだステープルを取り除いてください。



# フックについて

## ⚠ 警告

フックを使用する場合は必ず本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

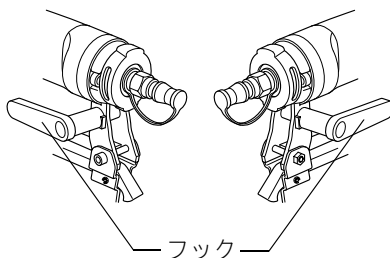
フックを腰のベルトなどにかけないでください。

- ・ フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。
- ・ フックを利用すれば本機を一時引っかけておくのに便利です。
- ・ 付属のフックは左右どちらにも取り付けることができます。



## フックの取り付け方

- ・ 付属のフックをセットして、ボルトを締めてください。



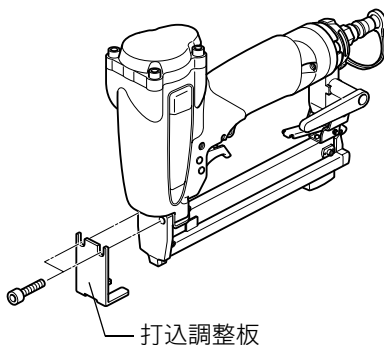
## ⚠ 警告

打込調整板の取り付け・取りはずしの際は必ず本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

## 打込調整板の取り付け方

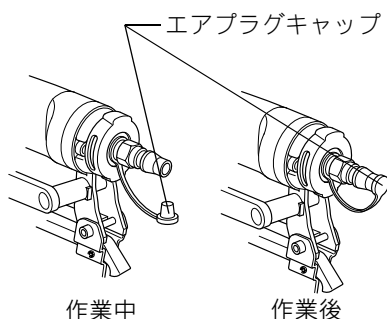
- ・ 2本の六角穴付ボルトを緩めます。
- ・ 図のように打込調整板を差し込み、しっかり締め付けます。
- ・ 打込調整板を前後させることにより、打込み深さを調整できます。



## 保守・点検について

### 作業後の保管

- ・ 機械内にゴミやほこりなどが入ると故障の原因になります。
- ・ 使用しないときにはエアホースをはずし、エアプラグにエアプラグキャップをしてください。
- ・ 作業後は防錆のためエアプラグから付属のタービン油を数滴注油してから数回発射してください。
- ・ 湿気の多い所、日光の当たる所、粉塵の多い所は避けて保管してください。



### 純正オイルの使用

- ・ オイルは弊社純正オイルを必ず使用してください。作業終了後、空気取入れ口より付属のタービン油を数滴注油してください。これを行うことにより最良の状態を保つことができます。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い求めの弊社登録販売店または裏面掲載の直営事業所にお申し付けください。



# 全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名     | 電話番号             | 事業所名    | 電話番号             | 事業所名     | 電話番号             |
|----------|------------------|---------|------------------|----------|------------------|
| 札幌支店     | (011) (783) 8141 | 足立営業所   | (03) (3899) 5855 | 東大阪営業所   | (06) (6746) 7531 |
| 札幌営業所    | (011) (783) 8141 | 大田営業所   | (03) (3763) 7553 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |
| 旭川営業所    | (0166) (29) 0960 | 江戸川営業所  | (03) (3653) 5171 | 南大阪営業所   | (0725) (46) 6611 |
| 釧路営業所    | (0154) (37) 4849 | 多摩営業所   | (042) (384) 8411 | 奈良営業所    | (0742) (61) 6484 |
| 函館営業所    | (0138) (49) 9273 | 立川営業所   | (042) (542) 1201 | 橿原営業所    | (0744) (22) 2061 |
| 苫小牧営業所   | (0144) (68) 2100 | 横浜支店    | (045) (472) 4711 | 和歌山営業所   | (073) (471) 4585 |
| 帯広営業所    | (0155) (36) 3833 | 横浜営業所   | (045) (472) 4711 | 田辺営業所    | (0739) (25) 1027 |
| 北見営業所    | (0157) (26) 9011 | 川崎営業所   | (044) (811) 6167 | 沖縄営業所    | (098) (874) 1222 |
| 仙台支店     | (022) (284) 3201 | 平塚営業所   | (0463) (54) 3914 | 兵庫支店     | (0794) (82) 7411 |
| 仙台営業所    | (022) (284) 3201 | 相模原営業所  | (042) (757) 2501 | 三木営業所    | (0794) (82) 7411 |
| 古川営業所    | (0229) (24) 0698 | 湘南営業所   | (0466) (87) 4001 | 尼崎営業所    | (06) (6437) 3660 |
| 青森営業所    | (017) (764) 4466 | 静岡支店    | (054) (281) 1555 | 神戸営業所    | (078) (672) 6121 |
| 八戸営業所    | (0178) (43) 3321 | 静岡営業所   | (054) (281) 1555 | 姫路営業所    | (0792) (81) 0204 |
| 盛岡営業所    | (019) (635) 6221 | 沼津営業所   | (055) (923) 7811 | 広島支店     | (082) (293) 2231 |
| 水沢営業所    | (0197) (22) 5101 | 浜松営業所   | (053) (464) 3016 | 広島営業所    | (082) (293) 2231 |
| 郡山営業所    | (024) (932) 0218 | 甲府営業所   | (055) (276) 7212 | 福山営業所    | (084) (923) 0960 |
| いわき営業所   | (0246) (23) 6061 | 金沢支店    | (076) (249) 5701 | 三原営業所    | (0848) (64) 4850 |
| 新潟支店     | (025) (247) 5356 | 金沢営業所   | (076) (249) 5701 | 岡山営業所    | (086) (243) 4723 |
| 新潟営業所    | (025) (247) 5356 | 七尾営業所   | (0767) (52) 3533 | 宇都宮営業所   | (0836) (31) 4345 |
| 長岡営業所    | (0258) (30) 5530 | 富山営業所   | (076) (451) 6260 | 徳山営業所    | (0834) (21) 5583 |
| 山形営業所    | (023) (643) 5225 | 高岡営業所   | (0766) (21) 3177 | 鳥取営業所    | (0857) (28) 5761 |
| 酒田営業所    | (0234) (26) 3551 | 福井営業所   | (0776) (35) 1911 | 松江営業所    | (0852) (21) 0538 |
| 秋田営業所    | (018) (863) 5205 | 岐阜支店    | (058) (274) 1315 | 高松支店     | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮支店    | (028) (634) 5295 | 岐阜営業所   | (058) (274) 1315 | 高松営業所    | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮営業所   | (028) (634) 5295 | 多治見営業所  | (0572) (22) 4921 | 徳島営業所    | (088) (626) 0555 |
| 小山営業所    | (0285) (25) 5559 | 松本営業所   | (0263) (25) 4696 | 松山営業所    | (089) (951) 7666 |
| 水戸営業所    | (029) (248) 2033 | 長野営業所   | (026) (225) 1022 | 宇和島営業所   | (0895) (22) 3785 |
| 土浦営業所    | (029) (821) 6086 | 上田営業所   | (0268) (22) 6362 | 高知営業所    | (088) (884) 7811 |
| 関東物流センター | (048) (771) 3451 | 飯田営業所   | (0265) (24) 1636 | 福岡支店     | (092) (411) 9201 |
| 埼玉支店     | (048) (771) 3462 | 名古屋支店   | (052) (571) 6451 | 福岡営業所    | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所  | (048) (777) 4801 | 名古屋営業所  | (052) (571) 6451 | 北九州営業所   | (093) (551) 3481 |
| 川越営業所    | (049) (222) 2512 | 一宮営業所   | (0586) (75) 5382 | 飯塚営業所    | (0948) (26) 3361 |
| 熊谷営業所    | (048) (521) 4647 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 久留米営業所   | (0942) (43) 2441 |
| 越谷営業所    | (0489) (76) 6155 | 知多営業所   | (0569) (48) 8470 | 佐賀営業所    | (0952) (30) 6603 |
| 前橋営業所    | (027) (232) 5575 | 岡崎営業所   | (0564) (22) 2443 | 長崎営業所    | (095) (882) 6112 |
| 高崎営業所    | (027) (365) 3688 | 豊橋営業所   | (0532) (46) 9117 | 佐世保営業所   | (0956) (33) 4991 |
| 両毛営業所    | (0276) (46) 7661 | 四日市営業所  | (0593) (51) 0727 | 熊本支店     | (096) (389) 4300 |
| 千葉支店     | (043) (231) 5521 | 津営業所    | (059) (232) 2446 | 熊本営業所    | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所    | (043) (231) 5521 | 伊勢営業所   | (0596) (36) 3210 | 八代営業所    | (0965) (43) 1000 |
| 市川営業所    | (047) (328) 1554 | 京都支店    | (075) (621) 1135 | 大分営業所    | (097) (567) 3320 |
| 成田営業所    | (0478) (73) 8101 | 京都営業所   | (075) (621) 1135 | 宮崎営業所    | (0985) (26) 1236 |
| 木更津営業所   | (0438) (23) 2908 | 福知山営業所  | (0773) (23) 7733 | 鹿児島営業所   | (099) (267) 5234 |
| 柏営業所     | (04) (7175) 0411 | 大津営業所   | (077) (545) 5594 | 沖縄営業所    | 大阪支店の欄をご覧ください。   |
| 東京支店     | (03) (3816) 1141 | 彦根営業所   | (0749) (22) 6184 |          |                  |
| 東京営業所    | (03) (3816) 1141 | 大阪支店    | (06) (6351) 8771 |          |                  |
| 中野営業所    | (03) (3337) 8431 | 大阪営業所   | (06) (6351) 8771 |          |                  |

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)